

北海道支部 1995 年夏季研究発表会

主催 日本化学会北海道支部

共催 日本分析化学会・高分子学会・日本エネルギー学会北海道支部、日本セラミック協会・有機合成化学協会各東北・北海道支部、触媒学会・石油学会各北海道地区

日 時 7月21日(金)

会 場 函館工業高等専門学校(函館市戸倉町14-1)

A 会 場

座長 松橋 博美(9:00~10:05)

- A01. 硫化水素共存下におけるアルカリ金属ゼオライト触媒上での酸点の生成
(室工大) ○長崎尚樹、小林隆夫、上道芳夫、杉岡正敏
- A02. エチレン-アンモニア間の反応に対する Rh/Y-ゼオライトと Ni/Y-ゼオライトの触媒挙動の比較
(北見工大) ○上島拓夫、坂上寛敏、松田剛、高橋信夫
- A03. パルス反応法による結晶性チタノシリケート上での1,3-ブタジエン気相酸化反応
(室工大) ○野口幸一、関美夏、菖薄明己
- A04. Pd/SiO₂ Rh/SiO₂ Rh-Pd/SiO₂ エチレンヒドロホルミル化に対する触媒挙動の比較
(北見工大) ○小林司、李洪、坂上寛敏、松田剛、高橋信夫
- A05. 銀イオン交換H型ゼオライト触媒の硫化水素処理効果
(室工大) ○Lebong Andalalung、松本靖央、杉岡正敏

座長 岡崎 文保(10:05~11:10)

- A06. 複合銀触媒によるプロピレンエポキシ化反応
(北見工大) ○近藤裕、菅野亨、小林正義
- A07. 金単結晶表面に吸着したペンタ鉄カルボニルの光分解生成物-IRAS と TPD による研究
(北大地環研・北大触研*) ○鈴木寿弘、佐藤真理*
- A08. 固体超強酸触媒を用いたイソブタンによるI-ブテンのアルキル化反応
(道教大函館) ○佐藤邦彦、松橋博美、荒田一志
- A09. ナトリウム金属蒸着酸化マグネシウム表面の超強塩基点
(道教大函館) ○松橋博美、及川将一
- A10. NiO-MgO 固溶体の還元処理による析出ニッケルの触媒特性

(室工大) ○柴田恵里、秋吉兆、小幡英二

座長 菅野 亨 (11:10~12:02)

A11. CO₂によるCH₄のリフォーミング反応

(室工大) ○中村秀喜、秋吉兆、小幡英二

A12. 触媒を用いるプラスチックリサイクルーゼオライト触媒による n-パラフィンおよびポリエチレンの分解

(室工大) ○中村淳子、上道芳夫、杉岡正敏

A13. ポリエチレンテレフタレートボトルのアンモノリシス

(宮城教大) ○佐々木栄一

A14. Co/Al₂O₃触媒の Co 種:COAhO₄の XPS によるキャラクタリゼーション

(北見工大) ○岡崎文保、多田旭男

座長 鈴木 勉(15:00~15:52)

A15. Fe₂O₃ および SiO₂ 粒子表面の酸塩基、荷電特性のモデル化と評価

(北大工) ○三田賢哉、田村紘基、古市隆三郎

A16. TiO₂ 粒子表面の Co²⁺イオン吸着機能のモデル化と評価

(北大工) ○安部俊宏、田村紘基、古市隆三郎

A17. K-モンモリロナイトによる Cu²⁺、Co²⁺アンモニウム塩の吸着特性

(道工大) ○岸政美、渡辺紀元

A18. 海水中のコロダイル鉄の存在と起源について

(北大水) ○松永勝彦、勝本暁、久万健志

座長 上道 芳夫 (15:52~16:31)

A19. 鉄触媒を用いる木質系バイオマス(樹皮炭化物)の低温水素ガス化ーオゾンおよび硝酸酸化による改質前処理の効果

(北見工大) ○出口耕一、船木稔、鈴木勉

A20. 木材熱分解タールの有効利用に関する研究ー木材防腐剤としての性能

(北見工大、旭川林産試*) ○鈴木勉、山本圭、
渡辺拓、船木稔、土居修一

A21. 木材樹皮からの高表面積炭素

(北見工大) ○山田哲夫、川村尚、鈴木勉、船木稔、橋本晴美

B 会 場

座長 松田 禎行 (9:00~9:52)

B01. 微生物セルロース合成における酵母エキスの効果

(北大工) ○藤原政司、呉嵐、牧野邦夫、高井光男、林治助

B02. 水溶性高分子添加培地における酢酸菌の培養

- (北大工) ○田島健次、藤原政司、高井光男、林治助
- B03. 玉葱食酢連続製造バイオリアクターの最適操作
(北見工大) 富田弘毅、○斉藤貴則、米山朋、管野亨、小林正義
- B04. 微生物による重質油中のキノリンの分解
(函館高専) ○小原寿幸
座長 藤原 政司 (9:52~10:44)
- B05. 紫外線の海洋生物に及ぼす影響：紫外線吸収物質の構造と機能
(北大地環研、道東海大海洋開発工*) 鈴木稔、
○有沢重誠、牧野愛、松尾嘉英、矢部和夫*
- B06. 紅藻サンゴモ類のアレロケミカルスに関する研究
(北大地環研、北大理*) 鈴木稔、○水野康弘、
松尾嘉英、傅法隆*、舘脇正和*
- B07. 網走近郊で採集したウラソゾ (*Laurencia nipponica*) から得られた新しい C-15 ブロ
モエーテルの構造
(道教大釧路) 鈴木輝明、小山千晶、○杉山崇、平山雄二
- B08. カシワ枯葉由来タンニンのクロムに対する錯形成能
(道工大) ○荒川裕史、渡辺紀元
座長 荒川 裕史 (10:44~11:23)
- B09. S-100 蛋白の Ca^{2+} 、 Zn^{2+} 、結合に及ぼすトリフルオペラジン、マストパランの効果
(道教大旭川) ○松田禎行
- B10. 界面活性剤ミセル水溶液の相分離によるチトクロム b_5 の抽出
(北大工) ○谷博文、上総民夫、渡辺寛人
- B11. キトサンのグラフト共重合体によるカオリン懸濁液の凝集
(秋田犬鉦山) ○芹田元、勝田博徳
座長 小泉 均 (15:00~15:52)
- B12. N-p-フェニルベンズイル-N-フェニルヒドロキシルアミンによるランタノイドの抽
出
(北見工大) ○井上貞信、宇都正幸
- B13. ホルムアミド誘導体への窒素ガスの溶解度測定と蒸気圧
(神戸高専) ○杉廣志
- B14. 極性有機溶媒移動相とシクロデキストリン化学結合型カラムを用いる光学異性体の
HPLC 分離
(北見工大) ○細川隆、橋本あゆみ、星座、宇都正幸、千葉俊郎
- B15. 水銀溶液の特異な性質—溶液化学的見方の可能性
(北大理) 杉村恭子、安原優子、○伊丹俊夫
座長 市川 恒樹 (15:52~16:44)

B16. 油水界面電荷移動の SECM

(室工大) 田辺博義、○大村雅也

B17. 運動エネルギーによる原子多重項の解析

(室工大) 古賀俊勝、○青木秀典

B18. 電子遷移行列 V_{ab} の基底関数依存性

(室工大) 太田勝久、○小野寺勉

B19. カチオンの near-Hartree-Fock 波動関数

(室工大) 古賀俊勝、○金山勝敏

C 会 場

座長 田村 紘基 (9:00~10:05)

C01. Keggin Al_{13} ポリマーの化学 (1)硫酸塩としての固相析出と洗浄の影響

(北大工) ○土田猛、北村和子、稲垣道夫

C02. Keggin Al_{13} ポリマーの化学 (2)Ga Al_{12} ポリマーの生成

(北大工) ○土田猛、中橋環、稲垣道夫

C03. 耐食性金属材料／電解質界面の局部液性状に対する合金添加元素の影響

(室工大) 田辺博義、○富樫和義

C04. 銅の腐食におよぼすベンゾトリアゾールおよびモノエタノールアミンの相乗抑制効果

(北大工) ○能登谷武紀、石川達雄

C05. Al 上に生成した Al-Ti 複合酸化物皮膜の構造と誘電特性

(北大工、東北大金研*) ○鹿内雅彦、高橋英明、瀬尾翼浩、
高広克巳*、永田晋二*、山口貞衛*

座長 加美山 隆 (10:05~11:10)

C06. ガラス形成容易ガラスの音波、誘電物性と粘性挙動

(北大理) 西沢亮二、○青木拓克、伊丹俊夫

C07. FZ 法による Nd:YV04 単結晶の育成

(北大工) ○樋口幹雄、八田一人、太田光哉、高橋順一、小平紘平

C08. AE 計測法による Na^+ 、 Rb^+ をドーブした $KN0_3$ の強誘電体 γ 相の安定化領域

(北大工) ○青木岳則、鶴田志郎

C09. V_2O_5 を添加した $Sr_{0.4}Ba_{0.6}Nb_2O_6$ セラミックスの誘電特性

(北大工) ○西脇志朗、高橋順一、小平紘平

C10. Cd_2SnO_4 薄膜のエレクトロクロミズム

(北大工、苫小牧高専) ○三上啓、古崎毅*、高橋順一、
鶴田志郎、小平紘平

座長 樋口 幹雄 (11:10~12:02)

C11. 非晶質 S-T1 系の電気的性質

(北大理) ○脇秀徳、加美山隆、中村義男

C12. 熔融 $\text{RbNO}_3\text{-Sr}(\text{NO}_3)_2$ 系の電気伝導度

(北大理) ○郷司昌弘、加美山隆、中村義男

C13. ポリリン酸を母材とするプロトン伝導体

(室工大) ○篠塚直樹、松山永、見城忠男

C14. 固体電解質からの熱イオン放出

(北大工) ○秋山正宏、市川恒樹、吉田宏

座長 折登 一彦 (15:00~15:52)

C15. X線結晶解析を用いる石炭化学構造の検討

(阪工大) 大植弘義、○多田晴彦、弓削貴義、安東亮、松田治和

C16. 放射光を用いた有機微小結晶の構造解析

(道教大函館、名大工*、高工研放射光**) ○竹中康之、田中清明*

永井八*、内田正哉**、須田昇**、大隅一致**

C17. 2,5-distyrylpyrazine 単結晶中の固相重合

(道教大函館、京大原子炉*、阪大基礎工**、北大高教ゼ***)

○石田亘、竹中康之、長谷博友*、宮武陽子**、小笠原正明***

C18. 低温固相中におけるアルキルラジカルの光および熱異性化反応の選択性

(北大工) ○小泉均、小杉新、吉田宏

座長 竹中 康之 (15:52~16:44)

C19. 1,2:5,6-ジアンヒドロヘキシトールのアニオン環化重合による新規多糖の合成とその重合の位置および立体

(北大工、北大地環研*) ○畑山猛、佐藤敏文、横田和明、覚知豊次*

C20. (S)-1,3-ブタンジイル、および(S,S)-2,4-ペンタンジイルビス(4-ビニルベンゾエート)とスチレンとの不斉環化重合

(北大工、北大地環研*) ○山内由紀朗、森本康史、羽場修、横田和明、覚知豊次*

C21. 酸化水銀・ヨウ素試薬による酸化反応とヨウ素化反応について

(北大工) ○竹尾充浩、折登一彦、徳田昌生

C22. 紫外線照射による α -ハロケトンの脱ハロゲン化

(北大工) ○大橋武志、折登一彦、徳田昌生

D 会 場

座長 星雅 之 (9:00~10:05)

- D01. 硫酸中における 2,4-ジメチルー3-ペンテンー2-オールと一酸化炭素との反応
(北見工大、北大工*) ○戸高紀代美、高橋行雄、米田徳彦*
- D02. アロイルシアナイドの電解還元
(北見工大) ○伊東敏明、沖本光宏、千葉俊郎
- D03. シアンイオン存在下におけるカルバニオンの
(北見工大) ○寺島克哉、田中千佳子、千葉俊郎
- D04. 9 位に種々の置換基を有するヘキサメトキシフェナントレンの合成
(北大工) ○亀川尚登、仙北久典、折登一彦、徳田昌生
- D05. 7 ニオンの付加による 2,5-二置換ピロリジンの合成
(北大工) ○梶塚義則、新田誠、藤田裕丈、
仙北久典、折登一彦、徳田昌生
座長 松田 冬彦 (10:05~11:10)
- D06. オルトパラジウム化を経るベンゾラクタム環形成反応
(北大工) ○徳橋隆志、宮津守、折登一彦、徳田昌生
- D07. パラジウム触媒による 2-アミノアルコールのカルボニル化:オキサゾリジノン環の新
合成法
(北大工) ○湯口基、折登一彦、徳田昌生
- D08. パラジウム触媒を用いるジホウ素化アルケンと有機ハロゲン化物とのクロスカップ
リング反応
(北大工) ○山本前史、石山竜生、宮浦憲夫
- D09. 遷移金属触媒を用いた、シリルエノールエーテルの合成
(北大工) ○白井泰男、山本靖典、宮浦憲夫
- D10. ボリルメチル亜鉛試薬を用いたアルデヒド選択的アルケンの合成
(北大工) ○斎藤俊・酒井正明・宮浦憲夫
座長 藤原 憲秀 (11:10~12:02)
- D11. 3-ブロモ-1-プロペニルジアルキルボランとトリブチルスズハイドライドの反応
(北見工大) ○堀川芳樹、見陣章彦、星雅之、荒瀬晃
- D12. アルコキシホウ素化合物から臭化アルキルの生成
北見工大) ○古城謙次、見陣章彦、星雅之、荒瀬晃
- D13. 過酸化水素を用いた Pheno1 類のヨウ素化反応における pH の影響
(室工大) ○鈴木啓介、武田新一、竹野昇
- D14. ヨウ化サマリウムを用いたジテルペン類の全合
(北大理) 坂井利成、河原史郎、○松田冬彦、宮下正昭

座長 原 正治 (15:00~15:52)

D15. ヘテロ原子を含む中員環化合物の新規合成

(北大工) ○畑洋守、仙北久典、徳田昌生

D16. ルイス酸を用いたエポキシアルコールの *endo* 選択的閉環反応

(北大理) 藤原憲秀、○常盤野哲生、村井章夫

D17. 8 および 9 員環エーテル系の環上官能基の立体制御の検討

(北大工) 藤原憲秀、○網島光佐、村井章夫

D18. (+)-Discodermolide の立体選択的合成研究

(北大理) ○大沼聡・宮滞貨宏・宮下正昭

座長 高橋 行雄 (15:52~16:44)

D19. ジアリアルヨードニウム塩のフッ素化分解反応。フッ素化の位置選択性に及ぼす置換基の影響について

(北大工) ○中東淳、関口学、福原疆、原正治、米田徳彦

D20. ジフルオロヨードアレーンを用いるケトエステルの直接フッ素化反応

(北大工) ○大森章弘、関口学、福原疆、原正治、米田徳彦

D21. ポリフルオロアルキル鎖を有する安息香酸誘導体の合成と液晶性—第3報—

(秋田犬鉦山、トーケムプロダクツ*、名工研**、) 村井幸一、○成田美雪、
春名紀芳、大森浩太*、林永二**、早川由夫**、阿部隆**

D22. $n\text{HF}\cdot\text{Et}_3\text{N}$ を用いる官能基を持ったアルケンの選択的ヒドロフッ素化反応

(北大工) ○亀岡幹生、福原疆、原正治、米田徳彦

支部総会 (13:00~13:10)

特別講演 (13:10~14:50)

座長 長谷川 俊勝 (13:10~14:00)

1. 「最近の魚油の利用について」

(日本化学飼料) 穂苅 勝利

座長 市川 恒樹 (14:00~14:50)

2. 「考古学発掘で出土した遺物の化学分析」

(北大高教セ) 小笠原 正明

参加登録費 主催・共催学協会員 1,500 円、学生会員 800 円、非会員一般
2,000 円、会員外学生 1,000 円 (講演者は会員に限ります。)

懇 親 会 7月21日 (金) 17:30 から

場所：「ホテル函館ロイヤル」（函館市大森町 16-9）

会費：4,000 円

連絡先 060 札幌市北区北 13 条西 8 丁目北海道大学工学部分子化学専攻内

日本化学会北海道支部（電話 011-706-6747）